



全力で協力。みんなで絆を深めた運動会

校長 野尻 史子

思いもかけない開会式中の雨に、一時は中断を余儀なくされた今年の運動会。子供たちもさぞ恨めしく空を見上げたはずです。朝早くからご来校いただいたご来賓、保護者の皆様には、天候事情とは言え、ご心配、ご面倒をおかけし申し訳ございませんでした。また、元氣会、PTA役員の皆様には、雨後の水かき等で大変お世話になり、ありがとうございました。

10時過ぎに再開後は、すっきりと澄んだ青空が広がり、運動会にふさわしい秋晴れの一日となりました。欠席なし、全員揃っての運動会が無事に挙行でき、感謝の気持ちでいっぱいです。

応援合戦が始まると「待ってました！」と言わんばかり、子供たちの元氣な応援、そして歌声が校庭いっぱいになって、運動会の成功が予感され思わず胸が熱くなりました。

4年ぶりに4年生以上で結成された応援団は、指導者も以前のことを思い出しながらの指導でした。「今年の応援団を史上最強の応援団に！」と、6年生を中心に毎朝練習することで、子供たち同士、赤白を超えて団結していく様子が、声の調子や一つ一つのキビキビした動作から伝わってきました。マスクを取って、声を出しての応援が、こんなにも子供たちの一体感を創りあげるのだと、今年の応援の様子を見て久しぶりに実感しました。

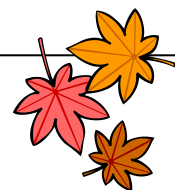
2年前の東京パラリンピックのスローガンに「する・みる・ささえる」がありました。スポーツにはいろいろな楽しみ方・関わり方があります。運動の得手不得手に関わらず、友達といっしょに体を動かし協力して運動すること、友達や他学年の競技や演技を見て応援すること、誰かが力を出し切って運動するのを支えることなど、運動会には子供たち一人一人の多様な姿があり、輝く瞬間があると、私も考えています。

岩淵小学校の運動会でも、「力いっぱい全力で走り、競い、表現する子供たち」「友達の力いっぴいがんばる様子を見て、大きな声で応援する子供たち」「選手として、係として、役割として、上学年として、自分が任されたことを責任もってやり遂げる子供たち」を、皆様にもご覧いただけたと自負しています。

岩淵小学校すべての子供たちの運動会に向けてのやる気と努力、ここまで準備してきた本校教職員の熱い想いと細やかな指導、保護者・地域の皆様のご協力やご声援のおかげで、スローガンどおり「**全力で協力。みんなで絆を深めた運動会**」になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今、正にスポーツの秋です。運動会が終わっても、子供たちがこの先何十年と健康で生活していくためにも、体を動かすことの大切さを忘れず、運動・スポーツに取り組んでほしいと願っています。

子供たちの活躍 ～入選・入賞 おめでとうございます～



10月4日 読売新聞 KODOMO 俳句入選

3年 増山 瑚夏さん「入道雲 じいじをのせて 夏の青空（そら）」

10月26日 北区小・中学校 アイデア工夫展

銀賞 4年 青木 航平さん「パワーアップうちわ」（都展に出品）

努力賞 6年 多田 慧輔さん「シューホンステッキ」

努力賞 3年 岡村 晏志さん「ねこ」